

ちょっとひと工夫

NO. 4

— 家庭学習改善のための情報 —

教学指導課

学校や地域の特色を生かして推進する家庭学習モデル校の取組

家庭学習モデル校が、学力向上に向けた家庭学習の改善の取組をスタートさせています。どの学校も、作業的になりがちな家庭学習の内容や方法を見直し、家庭学習の充実を図っています。また、それぞれの学校や地域の特色を生かして、「地域との連携モデル」「脱提出ノートモデル」「小中連携モデル」の構築を進めています。以下に、3校の取組の概要を紹介します。

辰野町立辰野中学校：地域との連携モデル校

OPTA・地域との連携

- ・教務主任が家庭学習に関わる PTA・地域との調整役。
- ・若手の教職員で家庭学習推進委員会を組織。新しい発想を生かす。
- ・昨年度から「貫練」（地域ボランティア・PTA による昼休みの家庭学習再採点）を実施。今年度は参観日に合わせて「貫練」見学会を実施。
- ・「数学チャレンジ検定」（PTA より提案）：月曜日の朝、5 問位の内容で実施し、満点の生徒に PTA より賞状授与。

○内容の改善

- ・数学：昨年度の家庭学習プリント（「基礎的な問題」「現在、学習している単元に関わる問題」「活用、記述型の問題」）の 3 つをバランスを考慮して配置を生徒の実態に合わせて修正して実施。
- ・理科：数学のプリントを参考にしながら家庭学習プリントを作成し、週に 1 回位ずつ実施。

○小中の連携

- ・小中連携委員会：家庭学習に関わる分科会を設置し協議。小 1～中 3 の家庭学習の内容を共有。



飯田市立鼎中学校：脱提出ノートモデル校

○生徒の意識を踏まえた支援、生徒の考えを取り入れた取組

- ・帰宅後の時間の使い方の実態調査の実施。自分の家庭学習の計画を立てることを指導。
- ・家庭学習振り返りアンケートを 1 学期末に実施（2 学期に生かす）。
- ・「家庭学習のあり方プロジェクト」での、各クラス代表生徒と教職員による家庭学習の協議。

○内容の改善

- ・数学：家庭学習プリントを利用し、地域ボランティアが採点。
- ・国語：学習内容を再構成する力を高める「授業の要点を再要約する百字帳」を実施。
- ・英語：新出単語の発音を家庭で確認し、発音練習ができる学校ホームページ「学びの部屋」の開設（準備中）。

○評価の見直し

- ・定期テストに家庭学習の内容を盛り込む。
- ・提出回数、提出率は通知表の評価対象からはずす。



須坂市立東中学校：小中連携モデル校（新）

○家庭学習主任の校務分掌への配置

- ・家庭学習主任を配置し、授業と関連付けた家庭学習や小中連携を推進。

○授業と関連付けた家庭学習

- ・授業をもとに宿題プリントを作成し、教科によって次の授業の最初、または翌週の授業の最初に内容の定着を確認する小テストを実施。

○小中連携（中学校区の三校（東中、豊丘小、仁礼小））

- ・家庭学習アンケートを実施し、地域の児童生徒の現状を三校で共有。
- ・中学校職員が小学生向けの家庭学習プリントを作成し、結果を集計することで、学力・学習習慣の実態把握、経年変化等を分析。
- ・三校合同職員会を実施し、「小中 9 年間を見通した家庭学習の手引き」を検討。
- ・今後、三校の研究主任会（教頭、研究主任、家庭学習主任）が中心になって、家庭学習や授業改善について連携・推進予定。



なお、今年度の家庭学習シンポジウムを右のように行います。モデル校や県内の小中学校の家庭学習改善の取組に学び合ったり、取組に伴う悩みを語り合ったりしましょう。

平成 27 年度 家庭学習シンポジウム

日時：平成 27 年 11 月 27 日（金）

会場：須坂市立東中学校

